

## 平成 29 年度実施 大網白里市住民協働事業 成果報告書

事業名	ハマボウフウ特産品化プロジェクト	
事業主体	実施団体	市（関係課）
	街資源再興プロジェクト	農業振興課

事業費	予算額	決算見込額	市補助金額（交付決定額）
	310,000 円	324,419 円	300,000 円

### 【 ①目的・課題について 】

次の事項がわかるように、事業概要を記入してください。

○どのような地域課題（行政課題）、住民ニーズに対して、

○いつ ○どこで ○誰を対象に ○どんなことを ○どのような方法で実施したか。

古くから漢方薬・民間療法薬として利用されてきたハマボウフウ、山菜として地元伝わっていたハマボウフウも、乱獲のあおりから環境省絶滅危惧 II 種で千葉県レッドリスト C で要保護生物に指定され、海岸からの採取は難しくなり、やがて地元の方々から忘れられてしまった。だが、一方では高級食材として料亭などで扱われている。これを大網白里の味として活かさないのはもったいない。特産品に出来ないか。昔の網元のおもてなし料理のレシピや、今でも海岸から採取して食している高齢の方等の食べ方を調査する。また漢方薬などに使われているのでその成分や効能などを調査。栽培に協力してくれる農家を探し栽培を依頼、そこで採取したハマボウフウを、飲食店へ持ち込みメニューに取り入れてもらえるように交渉し、加工品として商品化できるかなど、行政の関連部署などに協力を要請し、大網白里市の野菜としては春から初冬までの味として、また加工品は年間を通して「大網白里市に来ると高級食材のハマボウフウが手頃な値段で楽しめるよ」と言われるようにする。

又、各家庭などでも普段の食事に取り入れられるように、食材としての流通を考える。白里海岸の再生・保全活動で協力を仰いでいる里親さんに、大網白里の特産品として街おこしをする事で海岸の保全につながることを理解してもらう。

### ①ハマボウフウの栽培

- ・栽培物のハマボウフウを食材として広めることにより、海岸の絶滅寸前であるハマボウフウの採取を防ぎ、海岸の環境保護につなげていく。栽培の協力をしてくれる農家さんを、農業振興課からも声がけをしていただいたが、協力農家開拓はなかなか難しく、新たに試してみると協力的な農家さんは1軒にとどまった。

北今泉で、4月に苗の定植を行った畑は驚くほど順調に育ち、1年目でも収穫可能となった。どこでも育てられる植物ではあるが、やはり白里地区の砂地の土壌にはかなわないことが判明、この畑を来年度も借りて面積を広げて栽培することにした。

### ②ハマボウフウの食べ方を探る

- ・ハマボウフウの昔の調理方法や食べ方など、広報を通じて呼びかけ、大きな網元のおもてなし料理に使われていたこと、昔旅館などを営んでいた方から「懐かしい、昔うちでも使っていたのよ」など、ご意見を頂く。いかり防風として、刺身の“つま”として使われていた当時の祝い膳の献立の記録があった。庶民は、酢の物やてんぷらとして食べるのが多かった事が解った。

- ・1月に市長始め関係課長、食生活改善協議会、商工会、大網高校生物工学科の生徒に対して試食会を行う。千葉日報・ケーブルテレビ296が取材に来て、食材としてのハマボウフウをPRする事が出来た。又、試食会ではアンケート調査を行った。ほとんどの方が初めてハマボウフウを食べた方でしたが、美味しいとの評価をもらう。昔からの食べ方のてんぷらが特に評価が高かった。ハマボウフウ入りのうどんは色が綺麗だが味が弱いと言う方もいたが、おおむね美味しいとの評価であった。

当日のメニュー ①たまねぎとハマボウフウのポン酢ジュレ

②酢の物（赤い茎を利用）

③ハマボウフウの湯葉刺し風

④大根とハマボウフウのオリーブオイル炒め

⑤てんぷら

⑥うどん

⑦鯛のすまし汁

### ③ハマボウフウの成分・効能分析依頼

- ・食材としての成分分析を予定していたが、行政の方で調べてくれたので、これは調査しなくても良いこととなった。効能の分析は、上総アカデミアのDNA研究所で来年度4月に実施予定。

### ④市場調査→宮城県石巻市へ

- 6月に、同じような試みをしている石巻市の栽培農家さんを訪ね、情報交換を行う。温室内で、コンテナ栽培を見学した。これなら水稻農家の育苗ハウスが利用出来るかと思ひ、何軒かの農家に協力を要請するも 協議し想定したように簡単には協力農家さんは見つからなかった。農家の協力を得るには生産性の明示がやはり優先と思わざるを得ないと感じる
- ⑤海岸再生で活動中の里親に、特産品化で海岸を守ることにつながることを説明し、理解を求めた。→ハマボウフウ通信（環境事業で定期的に発行している）で周知する事と、海岸での保全作業時に説明を実施
- ⑥ハマボウフウを新たな市の特産品として、ブランド化し市の活性化を図る
  - ハマボウフウを味わった事のない市民や観光客に市の飲食店などで料理として提供してもらうために、協力店にハマボウフウを持ち込み、レシピの開発を依頼。本年度、4軒が協力してくれることになった。
  - 加工品の開発として、ハマボウフウを乾燥させ粉末したもので何か利用出来ないかと、粉末を試してみる。クッキーを試作し、見た目の色が綺麗、ヨモギのような灰汁は感じないが、ハマボウフウらしさを出すにはコストが掛かりそうなので躊躇している。うどんに入れてみたらと乾麺にしてくれた協力店があった。これは、1月の行った試食会に出すことになった。他に、オリーブオイルに入れてみたりハマボウフウ塩にしたりと、いろいろと利用出来そうなので、これからも試して行くことにする。
- ⑦行政や農家や農業関係者との、品質の良いハマボウフウの栽培についての情報交換を毎月の定例会時に行った。今後は農業振興課以外にも商品化や販路についても相談のできる課との打ち合わせも必要になって来ると感じる。
- ⑧ホームページの作成をあみナビ会に依頼 今後定期的に更新

## 【 ②企画・効果 】

次の事項がわかるように、成果を記入してください。

- 事業の内容が具体的で目標達成に向けて適切だったか。
- 協働で行うことでどのような効果が得られたか。
- 住民の満足度は得られたか。 ○他の団体との連携や協力により効果をあげたか。
- 事業を行うことで、市民や地域、他の団体への波及効果（広がり）はあったか。

- ・一からのスタートだったので、理想と現実の差があり、やらなければならない項目が多岐にわたって多すぎたため、予定通りに進まなかった部分もあった。ハマボウフウの栽培で、1年目から質の良いハマボウフウが採取出来ると思わなかったのも、もっと早い段階で気付くことが出来れば、事業に反映出来たと残念に思っている。
- ・加工品として、うどんの試作が出来たので、商品化できるような方向にもって行きたい。
- ・行政の職員が農業の知識が豊富だったので、いろいろな意見をもらうことができ大変助かった。
- ・試食会では、皆様から前向きなご意見を頂き、次へ繋げるステップと成った。
- ・試食会の様子は、千葉日報に掲載され、大網白里市の新たな味としてPR出来た。
- ・ハマボウフウのメニューを出してくれる飲食店から、大網白里市の味として広がるような取り組みがスタート出来た。

協働による効果について、自己評価 (☑) をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体	市 (関係課)
<input type="checkbox"/> 効果があった <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果があった <input type="checkbox"/> あまり効果はなかった。 (理由) 関係各方面、部署とも連携が取れ 今後の活動に期待が持てるレベルを維持できたことは大きいと思う	<input type="checkbox"/> 効果があった <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果があった <input type="checkbox"/> あまり効果はなかった。 (理由) 農業や栽培に関わる部分では農業振興課の協力が大いに役に立ったが 実務ではそれ以外の流通、販売、広告販促 PR に関わる面も多く他部署の協力を依頼したかった

### 【 ③実行力 】

団体と市の役割分担について、実際に担った役割を記入してください。

団体の役割	市（関係課）の役割
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 栽培協力農家の拡充</li> <li>・ 市場調査、聞き取り調査の実施</li> <li>・ 新たなメニューの開発、商品化開発、加工品開発</li> <li>・ 市内飲食店への食材としての紹介活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 栽培に関する助言</li> <li>・ 育苗ハウス利用の提案</li> <li>・ 会議への積極参加と議事録作成への協力</li> <li>・ 試食会実施への助言</li> </ul>

また、その役割分担は適正であったかについて、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体	市（関係課）
<input type="checkbox"/> 適正であった <input checked="" type="checkbox"/> 概ね適正であった <input type="checkbox"/> あまり適正でなかった （理由） スタート前から役割を明確にしておいたの で概ねやるべきことはカバーでき 適正だ ったと評価できると思う	<input type="checkbox"/> 適正であった <input checked="" type="checkbox"/> 概ね適正であった <input type="checkbox"/> あまり適正でなかった （理由） が、農業振興課以外との関わりが多い活動 もあり、他の部署への直接の相談が出来る と 尚、良かった

事業スケジュールについて、当初の計画と実際に実施した内容（実績）を詳細に記入してください。

当初の計画	実 績
<p>4月 栽培協力農家発掘（通年通して） 昔からの調理法を聞き取り調査・研究</p> <p>5月 里親へ活動説明 （パンフレット作成し、郵送） 市場調査(福島県四倉町)</p> <p>6月 行政及び栽培協力農家との情報交換会</p> <p>7月 昔のおもてなし料理の再現・研究 食材の栄養的な成分分析依頼(日本食品機能分析研究所)</p> <p>8月 昔のおもてなし料理の再現・研究</p> <p>9月 昔のおもてなし料理の紹介及び試食会開催 (行政・里親・協力農家等・アンケート調査実施)</p> <p>10月 産業文化祭での広報活動(チラシパンフレット配布)</p> <p>食材の薬効としての出前講座依頼 (城西国際大学大学院薬学研究科医療薬学専攻)</p> <p>11月 昔のおもてなし料理の再現・研究(9月のアンケート結果を基に)</p> <p>12月 行政及び栽培協力農家との情報交換会 ホームページ作成依頼 試食会開催案内送付</p> <p>1月 昔のおもてなし料理の紹介及び試食会開催 (商工会・飲食店・食生活改善協議会・大網</p>	<p>4月 昔からの調理法等を広報に掲載し情報収集 栽培協力農家発掘（通年通して） 昔からの調理法を聞き取り調査・研究</p> <p>5月 里親へ活動説明 （パンフレット作成し、郵送）</p> <p>6月 市場調査(宮城県石巻市)</p> <p>行政及び栽培協力農家との情報交換</p> <p>7月 ハマボウフウの料理研究の実施 成分分析は文献より発見 効能分析（高抗酸化）の論文も発見、来年度でこの分析の依頼実施に変更</p> <p>8月、9月 栽培協力農家の畑で草取り、種取りを実施 協力店への紹介とサンプル提供</p> <p>10月 産業文化祭での広報活動(チラシパンフレット配布)</p> <p>11月 栽培協力農家の畑で草取り、種取りを実施 協力店への紹介とサンプル提供</p> <p>12月 行政及び栽培協力農家との情報交換実施 ホームページ作成依頼 試食会開催案内送付</p> <p>1月 試食会開催 (副市長、市の関係各課、飲食店、食生活改善協議会、大網高校等を招待) アンケート実施、メディアを招いてのPR</p>

高校等) アンケート実施・加工品や新たなレシピ開発依頼 アンケート結果集計 2月 協力関係者が開発された加工品や新たなレシピのアンケート調査実施 3月 アンケートの回収・集計 行政及び栽培協力農家との情報交換会	2月 アンケート結果集計 加工品並びに新たなレシピの研究  3月 行政及び栽培協力農家との情報交換 ホームページ公開開始
--	--

また、当初の計画と実績をみて、事業スケジュールの組み立ては妥当であったかについて、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体
<input checked="" type="checkbox"/> 適正であった <input type="checkbox"/> 概ね適正であった <input type="checkbox"/> あまり適正でなかった (理由) 先ずは、白里地区の土壌が栽培に適していることを確認でき 翌年度には生産性の確認ができる処まで進んだのは予定よりも早い成果であった 協力飲食店の獲得は予定よりも戦略上の重要店の割り出しに時間がかかったので 店舗数からすると少なくなったが翌年には十分カバーできる 10 店舗強まで持って行けると思う PR などの進捗は予定通りで 3月のホームページ公開に結び付いた 加工品の品種の選定もうどん、パスタ、塩、唐辛子、オイル、漬物、クッキー、パンが候補に残り 来年度での試作とテスト販売に動ける予定である

## 【 ④継続性 】

住民協働事業により「人・もの・情報・スキル」等、団体の活動基盤が強化した点や活性化した点について記入してください。

(例：〇〇を購入したことにより〇〇のスキルが上がり、効率的に活動できた。〇〇活動により団体の認知度が高まり、参加者が増えるとともに会員も増えた。)

また、2年目、3年目の事業については、1年前、2年前と比べて、事業を継続したことで得られた効果も記入してください。

スタートして当初は月に一度の会議での進捗報告で その間の実行力が足りなかったためにテンポが遅かったが 後半になるにつれて 新規の会員も増え プロジェクトごとに会員の活動意欲も高まりを見せ 特に 1 月度の試食会以降は 来年度のより積極的な活動・運営に結び付く新たな組織が出来上がった

また、実際に畑にも多く顔を出し 生育の状況や コンパニオンプランツの在り方 新芽の最適な収穫時期などを身をもって覚える事が出来たのは大きい

プランニングに関してもコンサルタントの助言の元 スケジュール、財務、プランニングの管理がスムーズに進むようになり 役員、会員とも力がついてきたと思う

また、その結果について、自己評価 (☑) をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

### 団 体

- 強化、活性化した
- 概ね強化、活性化した
- あまり強化、活性化しなかった

(理由)

プラン、ドゥ、チェック、アクションの PDCA サイクルのベースが出来た  
また財務の管理も簡易ソフトの導入によりスムーズになり 来年度はより迅速で力強い活動が出来るし 加工品のテストなど新たな活動も成功に導けると確信している

【 ⑤必要性 】

団体と市が協働することで、行政サービスの充実・効率化等につながったか、協働による効果について記入してください。また、協働事業として実施し、良かった点や問題点等について記入してください。

まだまだ小さな市民活動なので 行政のサービスの向上にまで良い効果を出せたかについての言及は早いと思うが、行政と良い関係を構築できたことの収穫は大きく、特に市長、副市長をはじめ 今後関連を強化したい課のリーダーの皆様にも試食会やもう一つの活動である環境（ハマボウフウの自生を白里海岸に戻すため）の活動などを通じて この会の活動をご理解頂いたのは今後のより強い協働のためにも有意義あったと感じている

今後はより多くの部署と必要な情報交換と協働しての実行を進め、より強い協働による効果・成果が得られるように努力したい

また、その協働による効果について、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体	市（関係課）
<p> <input checked="" type="checkbox"/> 効果があった  <input type="checkbox"/> 概ね効果があった  <input type="checkbox"/> あまり効果はなかった。            (理由)            関連部署多くと連絡連携が取れるベースが出来た また農業・栽培に関しては農業振興課担当者の豊富な知識が役に立った         </p>	<p> <input type="checkbox"/> 効果があった  <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果があった  <input type="checkbox"/> あまり効果はなかった。            (理由)            担当された農業振興課からは十分な支援が得られたと思う 一方、事業化についていえば産業振興など製品化、製造、販売などに関わる分野での相談もしたかった         </p>